

高並谷まちづくり協議会報

心やすらぐふれあいの里 未来が見える高並郷

第33-1号
H25.06.05
発行責任者
高並谷まちづくり
協議会事務局

コスモスを植えました♪



まずは草刈り



耕します

■産業活性化部会■ (加来英一会長)

5月9日、産業部会は2か所の
休耕田にコスモスの種を蒔きました。

田植え時期の忙しい中、集まって
頂きまして、耕作放棄地へのコスモスのタネまきと苗を植えました。

場所は、旧高並小学校への上り坂ふもとにある田んぼと、高並神
社階段から高並側へ50メートルほど下ったところです。

当初、10日を予定していましたが、翌日雨との予報でしたから、
急ぎよ前日に前倒しとなりました。秋にはきれいなコスモスが行き
交う人の目を和ませることでしょう。



タネまき

通学路の整備と 花いっぱい運動



環境部会（江口善三郎会長）は5月12日、旧高並橋の十字路周辺の整備をしました。早朝から多くの方にご参加いただきまして、短時間で見違えるように美しく、見通しが良くなりました。

また、高並体育館裏の草刈りもあわせて行いました。

同日9時過ぎからは生活部会ほか多くの方と合流、高並正立寺入口付近に、地域の環境美化の一環としてヒマワリの苗を植えました。

夏には見上げるような大きなヒマワリが咲くでしょう。

参加された皆さん、大変お疲れ様でした。

高並神社(百社宮)へ 案内看板の設置



去る5月21日、高並神社へ案内看板の設置をしました。
場所は本殿前の庭先です。

歴史ある高並神社の由緒を、参拝者の方に少しでも知っ
て頂けたらと思います。

高並神社(百社宮)
たかなみじんじや
ももやしろ

主祭神
菟道稚郎子命
うじのわかいらつこのみこと

祭神
仲哀天
なかあひてん
天
あめ
皇
みま

由緒
推古十二年(西暦六〇九年、奈良初期)菟道稚郎子命(菟道大明神)が家性山(神社の後山)上に重迹され、その神託を受けた宇佐神宮守護寺別当職の法連和尚がこの地に祠を建立して奉斎したのが百社宮の起源とされる。それ以来、高並谷六十五社がこの宮に所属し百社大明神と呼称す。明治五年、太政官布告により社格が定められ百社宮は郷社に列せられ以後各地の諸社を合祀し一村一社となし明治四十四年高並神社と改称す。

祭典行事

例祭	五月十日
神幸祭	十月第3土曜日・日曜日 (町内唯一神輿が運行される)
新嘗祭	十一月二十日
大歳祭、除夜祭	十二月三十日
歳旦祭	一月一日
祈年祭	三月十日

平成二十五年五月吉日 高並谷まちづくり協議会